

報告第13号

令和2年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、令和2年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算を別紙のとおり報告する。

令和3年9月1日

西脇市長 片山 象 三

# 令和2年度事業報告書及び決算報告書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

# 令和 2 年度事業報告書

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、世界的に経済はこれまでにないほどの低迷を余儀なくされ、企業活動をはじめ日常生活は一変し、新しい生活様式に対応したサービスや事業活動が求められた。特に、テレワークの普及やオンラインによる会議の常態化などデジタル技術の活用が広がり、企業においてはコロナ禍で事業を継続するために非対面型ビジネスモデルの導入など適応力が不可欠となった。

そのような中、北播磨地域の地場産業である「播州織」については、緊急事態宣言に伴う外出自粛、百貨店、小売店の休業や時短営業で販売が落ち込み、大手アパレルの経営破綻、アパレルブランドの統廃合等の影響により受注が激減し、生産数量は対前年比39.3%の減少となり、昨年以上に厳しい状況となっている。

「播州釣針」については、緊急事態宣言下における外出自粛により一時釣具市場は失速したが、コロナ禍で密を回避できるレジャーとして釣りを楽しむ初心者や道具を新調する者の増加等により売上は回復傾向にある。

地域経済の活性化には地場産業の振興が重要であり、当財団では、兵庫県及び地域行政の支援を受け関係業界と連携し、地場産業の振興のための効果的な事業を展開するとともに、地場製品のPR、ブランドの発信や販路拡大等の活性化事業に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、一部の事業においては中止した。

令和 2 年度の事業実施状況を次のとおり報告する。

## 記

### 〔公益目的事業〕

(公 1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業 (定款第 4 条第 1 号)

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業 (播州織)

「播州織」ブランドの発信と最新の先染織物播州織を市場に提案するため、播州織業界各団体から推薦を受けた委員で構成する新商品試作開発委員会を組織し、「サステイナブル・衛生」をテーマとして染・織・加工の技術を駆使した先染生地を試作開発した。

試作開発した生地は16点で、令和2年11月18日及び19日に東京都千代田区の東京国際フォーラムで開催した「播州織総合素材展2021」の試作コーナーで展示を行った。また、試作した生地にQRコードを付けて、各社のホームページ、インスタグラムへアクセスができるようにし、会社名及び生地の概要を含め播州織のPRに努めた。

(県の産地クリエイター養成事業の助成を受けて実施)

## 2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

### (1) 播州織総合素材展事業（播州織）

永年にわたり産地単独で開催してきたが、令和2年度は東京で開催された国内最大の繊維総合見本市「JFW JAPAN CREATION2021」に「播州織総合素材展2021」として初出展した。当該見本市では、播州織産地と取引がない新規顧客を獲得するため、高度な技術を駆使した先染織物の新製品の提案と播州織の魅力を発信することにより、需要喚起と産地の活性化を図った。

事業を進めるに当たり、産地業界（産元、染色、織布、加工）、兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター及び地域行政で実行委員会を組織した。

実行委員会を4回、出展者打合せ会を3回開催し、実施要領、小間レイアウト、展示方法、案内先等について、事業の企画調整と準備を行った。

出展者数は16社及び1団体で、小間内では織布事業者3社と加工事業者2社がそれぞれ個別展示を行い、産元協同組合所属の11社が「サステイナブル・衛生・一押し」の3つのテーマごとに合同で1社15点、総数165点の生地を展示した。

展示会名 播州織総合素材展2021

開催日 令和2年11月18日（水）・19日（木）

場所 東京国際フォーラム地下2階 ホールE

出展者数 16社、1団体

来場者数 約700人（播州織ブース）

(県の産業界提案型復活応援事業の助成を受けて実施)

### (2) 播州織ブランド普及振興事業（播州織）

先染織物「播州織」のブランド及び品質の良さをPRするため、播州織ブランド普及振興事業実行委員会（県、地域行政、西脇商工会議所、播州織業界団体で構成）を組織して、事業推進に当たった。

ア 播州織コレクション事業

「播州織」ブランドと播州織の良さをPRするため2事業を実施した。

(ア) 新商品・新技術開発事業

デザイナーと産地企業が連携し、播州織を使用した製品を開発した。今年度は、ブランド「NUIKA」の2人のデザイナーと播州織産元協同組合11社及び播州織整理加工協会2社とのコラボレーションにより、レディース5点、メンズ5点、キッズ5点の合計15点を試作開発した。

(イ) 販路開拓事業

最終製品としての「播州織」ブランドをPRするためにファッションショーの開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンデマンドによるコレクションの配信を行った。

名 称 播州織コレクション2021

配 信 日 令和3年2月19日(金)から配信開始

配信場所 北播磨地場産業開発機構ホームページ

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

イ ブランド発信PR事業

(ア) 播州織ブランド専用ホームページにおいて、「播州織」ブランドの普及のため、ファッションショー等のイベント内容や播州織生産数量データ等の更新を行い、「播州織」ブランドを発信し、PRした。

(県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施)

(イ) 地域情報誌「まるはり」に、播州織の製造工程、生地及び製品並びに播州織産地の自然豊かな風景を掲載し、一般消費者に播州織をPRした。

(県の地場産業活性化支援事業の助成を受けて実施)

(3) 播州織インターンシップ支援事業(播州織)

国内の学校や企業等で、マーケティングノウハウやデザイン等の専門知識を学ぶために比較的短期間の国内インターンシップ支援事業であったが、希望する企業がなかったことから実施に至らなかった。

(4) 播州織パンフレット作成事業(播州織)

播州織の認知度向上及び新規顧客など販路開拓・拡大を図るため、播州織産地における環境保全やサステイナブル（持続可能）に対応した取組及び播州織の衛生機能（抗菌・抗ウイルス、防臭、消臭等）を掲載したパンフレットを作成し、「播州織総合素材展2021」会場で配布し、来場者にPRを行った。

（県の地場産業活性化支援事業の助成を受けて実施）

(5) 労働環境確保事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、空気清浄機、フェイスシールド、マスク、消毒液等を購入し、接触感染や飛沫感染の拡大防止による労働環境確保に努めた。

（県の中小企業事業再開支援事業の助成を受けて実施）

(6) 播州織相談員事業（播州織）

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織関連企業等の競争力強化及び播州織の振興を図った。

ア 播州織の競争力強化に関すること。

イ 播州織ファッションショーに関すること。

ウ 播州織のPRに関すること。

エ 播州織の振興に関すること。

相談回数 合計65回

(7) 播州釣針地場産業展出展事業（釣針）

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展し、市場関係者及び消費者の関心を高め需要拡大の機会の創出を図る計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、展示会の中止、また伝統工芸士の感染防止の観点から出展を辞退するなど事業を実施することができなかった。

ア にしわき産業フェスタ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

イ 伝統工芸ふれあい広場・京都

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から出展を辞退

ウ 釣りフェスティバル2021 in YOKOHAMA

開催日 令和3年1月22日（金）～24日（日）

場所 横浜市西区みなとみらい パシフィコ横浜ホー

ル

内 容 播州毛鉤のインターネットによる展示を行った。  
なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1月22  
日～2月25日の間、オンデマンドによる配信に変更となった。

(8) 播州釣針普及事業（釣針）

播州釣針をPRし、消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、釣り大会等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止せざるを得ない状況が続き、資源保護のための稚魚の放流事業のみ実施した。

ア 稚魚の放流事業

開 催 日 令和2年6月10日（水）

場 所 武庫川河口周辺、神戸市立平磯海づり公園周辺、  
播磨町新島護岸

参加者数 57人

イ 鮎の毛鉤釣り大会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

ウ ファミリー海釣り教室

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業（播州織）

播州織ブランドの産地生産体制の維持には産地の内部基盤を強化する必要があることから、事業承継や技術承継のために、ブランドのPR力、製品の企画力、製造技術の習得等のセミナーを開催した。

ア Webを活用した商品のPR方法に関する講座

内 容 ①Zoomの基礎に関する講座を実施

②ITを用いた商談方法の提案に関する講座を実施

開 催 日 時 ①令和2年7月29日（水） 14:00～

②令和2年7月30日（木） 14:00～

講 師 小澤 裕司氏

場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援セ

- ンター
- 参加者数 ①18人、②14人
- イ サステイナブル（持続可能）な取組に関するセミナー
- テ ー マ ①繊維産業が取り組むべき持続可能な開発について  
②注力する国際的サステイナブルな団体について
- 開催日時 ①令和2年9月1日（火） 13：30～  
②令和2年9月1日（火） 15：00～
- 講 師 ①矢後 弘和氏（一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 シニアマネジャー）  
②室井 優氏（日鉄物産株式会社繊維事業本部 事業開発部素材開発グループ 担当部長）
- 場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター
- 参加者数 ①25人、②25人
- ウ 地場産業ブランド力強化促進講演会
- テ ー マ コロナ時代を迎え劇的に変わるアパレル小売り～産地生き残りをかけてデジタルシステムを学ぶ！～
- 開催日時 令和2年12月8日（火） 14：00～
- 講 師 小谷 理実氏（株式会社アベイル 代表取締役）
- 場 所 西脇市茜が丘複合施設「Miraie」
- 参加者数 32人
- エ 実演・見学会
- 内 容 繊維工業技術支援センターの最新研究開発内容の紹介及び当センター保有機器の実演を見学
- 開催日時 令和3年2月17日（水） 13：30～
- 講 師 藤田 浩行氏（支援センター所長）  
中野 恵之氏（支援センター課長）  
東山 幸央氏（支援センター主任研究員）
- 場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター
- 参加者数 16人

〔収益等事業〕

その他の事業

(他 1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業 (定款第 4 条第 3 号)

1 播州織情報収集事業 (播州織)

播州織の生産状況や出荷状況などの情報を迅速に把握し、生産の効率化を図るため、提携している一般財団法人メンケン品質検査協会や業界団体等の各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、行政機関や関係先等の産地内外に提供した。

(他 2) 地場産業振興のための調査事業 (定款第 4 条第 5 号)

1 戦略推進事業 (播州織)

(1) 播州織ビジョン委員会 (播州織を守る会)

数年間にわたり運営会議や各種ワーキンググループで検討され、播州織ビジョン委員会として報告された「播州織への提言」の内容、①ブランド管理、②播州織ブランドの外部発信力強化、③播州織ブランド内部基盤強化等について、実施状況を見守る。

(2) 産地間交流事業

地場産業「播州織」振興のための情報収集を目的に、他産地との「産地間交流事業」を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(他 3) 地場産業製品の普及に関する事業 (定款第 4 条第 2 号)

1 縫製品 P R 事業 (播州織)

播州織縫製品の展示を行い、消費者への P R をし、需要拡大の機会を創出する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてイベントが中止になったために出展ができなかった。

(1) P R 事業

ア にしわき産業フェスタ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

# 令和2年度収支決算書

## 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	44,066	113,046	△ 68,980
普通預金	10,251,487	2,700,634	7,550,853
定期預金	20,000,000	25,000,000	△ 5,000,000
未収金	711,589	6,172,090	△ 5,460,501
流動資産合計	31,007,142	33,985,770	△ 2,978,628
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	205,000,000	205,000,000	0
基本財産合計	205,000,000	205,000,000	0
(2) 出資金			
出資金	1,200	1,200	0
出資金合計	1,200	1,200	0
固定資産合計	205,001,200	205,001,200	0
資産合計	236,008,342	238,986,970	△ 2,978,628
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	7,000,000	△ 7,000,000
預り金	1,036,119	1,041,779	△ 5,660
流動負債合計	1,036,119	8,041,779	△ 7,005,660
負債合計	1,036,119	8,041,779	△ 7,005,660
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	234,972,223	230,945,191	4,027,032
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	234,972,223	230,945,191	4,027,032
負債及び正味財産合計	236,008,342	238,986,970	△ 2,978,628

# 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,845,025	2,687,562	157,463
基本財産利息収入	2,845,025	2,687,562	157,463
受取補助金等	22,396,980	21,031,000	1,365,980
地場産業ブランド力強化促進事業補助金	4,586,824	4,480,000	106,824
産地クリエイター養成事業補助金	1,000,000	1,000,000	0
産業界提案型復活応援事業費補助金	3,670,156	0	3,670,156
地場産業活性化支援事業補助金	400,000	511,000	△ 111,000
中小企業事業再開支援事業補助金	200,000	0	200,000
持続化給付金	2,000,000	0	2,000,000
団体補助金	160,000	160,000	0
地方公共団体補助金	10,380,000	14,880,000	△ 4,500,000
受取負担金	5,130,000	13,303,000	△ 8,173,000
分担金収入	5,130,000	13,303,000	△ 8,173,000
受取寄付金	0	0	0
寄付金収入	0	0	0
雑収益	144,424	42,113	102,311
受取利息	37,759	40,272	△ 2,513
雑収入	106,665	1,841	104,824
経常収益計	30,516,429	37,063,675	△ 6,547,246
(2) 経常費用			
事業費	15,855,215	26,669,070	△ 10,813,855
報償費	1,000,000	1,000,000	0
謝金	0	330,000	△ 330,000
旅費	44,580	2,061,840	△ 2,017,260
会議費	8,529	8,040	489
通信運搬費	80,232	623,913	△ 543,681
印刷製本費	0	628,870	△ 628,870
消耗品費	97,136	166,488	△ 69,352
賃借料	0	2,610,395	△ 2,610,395
会場整備費	0	7,836,389	△ 7,836,389
広告宣伝費	170,500	1,062,600	△ 892,100
外注加工費	26,400	25,920	480
役務費	264,000	261,200	2,800
原材料費	220,000	384,000	△ 164,000
負担金支出	0	36,500	△ 36,500
雑費	0	231,802	△ 231,802
支払手数料	2,420	6,794	△ 4,374
繰入金支出	13,941,418	9,394,319	4,547,099

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	10,634,182	10,392,353	241,829
給料手当	5,598,000	5,978,000	△ 380,000
福利厚生費	1,298,370	1,444,422	△ 146,052
通勤費	138,000	108,000	30,000
会議費	5,029	1,270	3,759
旅費交通費	31,100	93,740	△ 62,640
通信運搬費	89,306	97,058	△ 7,752
消耗品費	510,739	182,513	328,226
印刷製本費	30,800	32,724	△ 1,924
賃借料	1,273,952	1,287,822	△ 13,870
共益費	299,103	303,738	△ 4,635
諸謝金	338,360	323,136	15,224
負担金支出	161,000	165,700	△ 4,700
雑費	100,170	342,932	△ 242,762
支払利息	0	31,298	△ 31,298
支払退職金	760,253	0	760,253
經常費用計	26,489,397	37,061,423	△ 10,572,026
当期經常増減額	4,027,032	2,252	4,024,780
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,027,032	2,252	4,024,780
一般正味財産期首残高	230,945,191	230,942,939	2,252
一般正味財産期末残高	234,972,223	230,945,191	4,027,032
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	234,972,223	230,945,191	4,027,032

# 財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金	44,066	
預金	普通預金 三井住友銀行西脇支店	運転資金	457,298	
預金	普通預金 商工中金神戸支店	〃	5,752,528	
預金	普通預金 大和初社銀行	〃	41,625	
預金	普通預金 みのり農業協同組合	〃	4,000,036	
預金	定期預金 みのり農業協同組合	〃	20,000,000	
未収金	基本財産運用益	〃	711,589	
流動資産合計			31,007,142	
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	債券	運用益を財団運営に使用	50,000,000
	投資有価証券	債券	〃	50,000,000
	投資有価証券	債券	〃	50,000,000
	投資有価証券	債券	〃	30,000,000
	投資有価証券	兵庫縣市町共同公募債	〃	20,000,000
	投資有価証券	社債	〃	5,000,000
その他固定資産	出資金	県火災共済(協)	什器備品の火災保険加入	1,200
固定資産合計			205,001,200	
資産合計			236,008,342	
(流動負債)				
	預り金		1,036,119	
流動負債合計			1,036,119	
負債合計			1,036,119	
正味財産			234,972,223	

## 令和2年度事業別決算額説明

(単位：円)

区 分	事業名	科 目	予算額	決算額	備 考	
(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業	新製品・新技術及びデザインの研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	1,969,000	1,965,476	特別会計へ
			合 計	1,969,000	1,965,476	
	地場産業製品の普及事業	播州織総合素材展事業	会 議 費	4,000	3,909	委員会賄費
			繰入金支出	5,448,000	5,444,308	特別会計へ
			合 計	5,452,000	5,448,217	
		播州織ブランド普及振興事業	旅 費	45,000	44,580	委員旅費
			繰入金支出	5,176,000	5,171,855	特別会計へ
			合 計	5,221,000	5,216,435	
		播州織パンフレット作成事業	繰入金支出	479,000	478,120	特別会計へ
			合 計	479,000	478,120	
		労働環境確保事業	繰入金支出	231,000	229,359	特別会計へ
			合 計	231,000	229,359	
		播州織相談員事業	報 償 費	1,000,000	1,000,000	相談員報償費
			合 計	1,000,000	1,000,000	
		播州釣針地場産業展出展事業	広告宣伝費	200,000	170,500	法被作製等
支払手数料	1,000		440	振込手数料		
合 計	201,000		170,940			
播州釣針普及事業	原 材 料 費	220,000	220,000	放流費、餌代		
	支払手数料	1,000	550	振込手数料		
	合 計	221,000	220,550			
地場産業の経営者、技術者等の研修事業	人材育成事業	会 議 費	5,000	4,620	セミナー打合せ	
		繰入金支出	655,000	652,300	特別会計へ	
		合 計	660,000	656,920		
その他の事業	(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業	播州織情報収集事業	通信運搬費	82,000	80,232	電話回線使用料、郵送料
			消 耗 品 費	96,000	97,136	専門紙、資料作成費
			外 注 費	27,000	26,400	ドメイン・サーバー維持管理費
			役 務 費	264,000	264,000	調査資料費
			支払手数料	2,000	1,430	振込手数料
			合 計	471,000	469,198	
合 計			15,905,000	15,855,215		

# 特別会計説明

## 1 播州織ブランド新商品試作開発事業

(県：産地クリエイター養成事業 新商品・新技術開発事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	1,965,476	県補助金 1,000,000 自己資金 965,476
合 計	1,965,476	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
研究開発事業費	試織費	1,911,250	試織費
	サンプル作成費	34,694	サンプル作成費
	小 計	1,945,944	
庁費	会議費	1,432	委員会賄費
	通信運搬費	2,520	郵送料
	消耗品費	5,480	事務用品費
	賃借料	6,250	会議室使用料
	支払手数料	3,850	振込手数料
	小 計	19,532	
合 計		1,965,476	

## 2 播州織総合素材展事業

(県：産業界提案型復活応援事業)

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	5,444,308	県補助金 3,670,156 自己資金 1,774,152
合 計	5,444,308	

支出の部

(単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
旅費	職員旅費	513,200	職員・委員旅費
庁費	印刷製本費	113,850	出展者リスト他印刷費
	通信運搬費	25,804	案内状他郵送料、出展品他配送料
	消耗品費	66,259	事務用品費他
	賃借料	67,130	会議室使用料
	広告宣伝費	1,541,600	ホームページ制作、新聞広告費他
	出展料	3,111,625	出展料、小間内設営費他
	支払手数料	4,840	振込手数料
	小 計	4,931,108	
合 計		5,444,308	

3 播州織ブランド普及振興事業  
 (県：地場産業ブランド力強化促進事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	4,840,355	県補助金 4,000,000 自己資金 840,355
合 計	4,840,355	

支出の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考	
研究開発事業費	1,200,000	製品製作費	
庁費	外注費	181,500	ホームページ管理更新費
	通信運搬費	12,084	郵送料
	消耗品費	4,276	事務用品費、コピー代
	印刷製本費	66,000	チラシ印刷費
	賃借料	211,625	撮影施設・会議室使用料
	広告宣伝費	50,000	PR用品製作費
	会場整備費	3,111,900	コレクション撮影・映像制作費
	支払手数料	2,970	振込手数料
	小 計	3,640,355	
合 計	4,840,355		

4 播州織ブランド普及振興事業  
 (県：地場産業活性化支援事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	331,500	県補助金 165,000 自己資金 166,500
合 計	331,500	

支出の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考	
庁費	広告宣伝費	330,000	地域情報誌掲載費
	消耗品費	400	コピー代
	支払手数料	1,100	振込手数料
合 計	331,500		

5 播州織パンフレット作成事業  
(県：地場産業活性化支援事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	478,120	県補助金 235,000 自己資金 243,120
合 計	478,120	

支出の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考	
庁費	印刷製本費	471,900	パンフレット印刷費
	消耗品費	6,000	コピー代
	支払手数料	220	振込手数料
合 計	478,120		

6 労働環境確保事業  
(県：中小企業事業再開支援事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	229,359	県補助金 200,000 自己資金 29,359
合 計	229,359	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
庁費	資材費	69,249	マスク、消毒薬等
	設備・備品購入費	159,600	空気清浄機代
	通信運搬費	510	郵送料
合 計		229,359	

7 人材育成事業  
(県：地場産業ブランド力強化促進事業)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
繰入金収入	652,300	県補助金 586,824 自己資金 65,476
合 計	652,300	

支出の部 (単位：円)

経費区分	科 目	決算額	備 考
謝金	謝金	490,000	研修・講演会講師料
旅費	旅費	115,200	講師旅費
庁費	会議費	6,024	会議賄費
	通信運搬費	3,566	郵送料
	印刷製本費	34,740	講演会資料代
	賃借料	2,000	講演会場使用料
	支払手数料	770	振込手数料
	小 計	47,100	
合 計		652,300	